

左から、大島委員、平山さん、井上委員



がんばる ファーマー応援記

Vol.10

このコーナーは、町内でがんばっているまたはがんばろうと考えている農家を支援する農業委員の活動を紹介します。

地区担当農業委員

井上一雄 委員

薄室

平山英昭さん
(39歳)

今回は、薄室の平山バラ園を訪問し、平山英昭さんにお話しを伺いました。明るい笑顔で元気に迎え入れてくださいました。

▼初めに、平山さんのお宅の 営農状況を教えてください。

【英昭さん】 水稲と施設園芸を経営しています。現在、水稲を約5haで作付けているほか、バラとカラを栽培しています。バラは水耕栽培の方法を取り入れています。水稲部門は主に両親が経営しています。田植えの時期と花卉の最盛期が重なりますが、協力し合って作業をしています。

▼就農のきっかけを教えてください。

【英昭さん】 那須拓陽高校卒業後、栃木県農業大学校園芸経営学科で花卉を専攻しました。卒業後は静岡県沼津市のバラ農家で2年間の研修を積み、平成11年から自宅です就農しました。就農後も、研修先の農家の方にはいろいろとお世話に

なっています。

▼施設園芸は英昭さんが 経営に取り入れたのですか。

【英昭さん】 就農と同時に軽量鉄骨のビニールハウス3棟を建設し、バラの土耕栽培を始めました。元々両親がりんどうの栽培も行っていましたので、花卉を導入する基礎はあったと思います。

現在の水耕栽培には2年前に移行しました。水は井戸水を使用しています。肥料は液肥で、コンピュータ管理の下、午前7時から午後2時までの間、1時間毎に自動で追肥しています。また、ハウス内は18℃の気温を保つ必要があります。センサー管理をしています。近年の原油高騰の際には、経営に大きな影響がありました。また、一昨年の豪雪では、ビニールやアルミのレールが損傷する被害がありました。

▼これからどのような経営を 考えていますか。

【英昭さん】 良いバラを作ることで、生長の時期を調整したり、病気が出てしまうことなど難しいことでもあります。良い色の良いバラを生産していきたいです。また、露地栽培でカラーも栽培しています。今年はその面積を拡大する予定です。

▼英昭さんに一言お願いします。

【井上委員】 町内にバラ農家は2軒と伺いました。英昭さんはバラの栽培にとっても熱心で、ぜひ今後とも花卉経営を安定して継続してもらいたいと思います。英昭さんは健康な女性がタイプとのことですので、素敵なお嫁さんを見つけ、これからもがんばってください。応援しています。

平山バラ園では、8種類のバラが栽培されています。バラの切り花は、90日間位かけてゆっくり大きくなり、長く楽しめるそうです。夏場は高温のため30日間位と短く、少し小さい花になるそうです。ハウスで直売しており、最近では、プロポーズ用として、108本のバラの花束の注文を受けたそうです。

